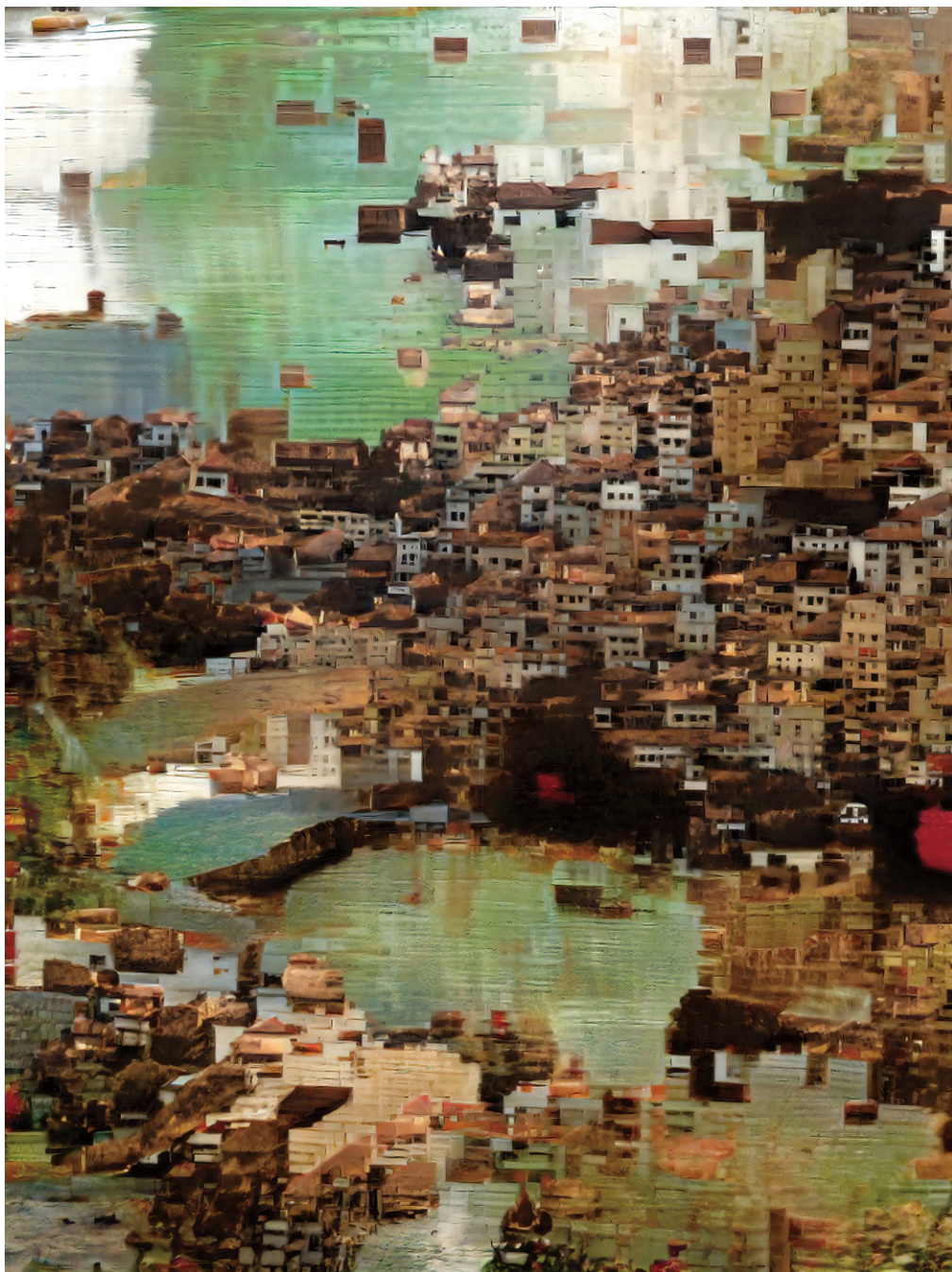


日本の新進作家 vol.23
Contemporary
Japanese
Photography
vol. 23

Assembling Anew:
Memories, Materials, Context, Technology

ふたたび

くみたてる



市田 小百合
苅部 太郎
野村 在
橋本 麦
藤倉 麻子

Ichida Sayuri
Karibe Taro
Nomura Zai
Hashimoto Baku
Fujikura Asako

開館時間
10:00-18:00(木・金は20:00まで)
※入館は閉館の30分前まで

休館日
毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合開館し、翌平日休館)、
年末年始(12/28-1/1)

主催:東京都写真美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京新聞
協賛:東京都写真美術館支援会員

観覧料
一般 700(560)円/学生 560(440)円/高校生・65歳以上 350(280)円
*()内は有料入場者20名以上団体。
*中学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名様まで)は無料。
第3水曜日は65歳以上無料。1月2日(土)、3日(日)は無料。
*11月5日(木)-27日(金)の木・金曜日17:00-20:00は
夜間特別開館による割引料金(学生・高校生は無料、一般・65歳以上は団体料金。
学生証・年齢が確認できるものをご提示ください。)

www.topmuseum.jp

2026年9月30日水 ————— 2027年1月17日日

東京都写真美術館 3階展示室
恵比寿ガーデンプレイス内

TOP MUSEUM

記録されたもの、想像されたもの。
その境界で生まれる新たなイメージの可能性を探る。

東京都写真美術館では、写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘するとともに、新しい創造活動の展開の場として、2002年より継続的に「日本の新進作家」展を開催しています。

写真や映像は、物事を写し、残すメディアです。しかし、写し取られたイメージは、編集や置かれた文脈によって異なる意味を帯びることもあります。そのため、ときに存在しない／しなかった記憶や記録さえも想起させます。そこにおける境界線は、ますます曖昧になりつつあり、イメージのなかには、見えるものと見えないものの、実存と虚構、存在と不在の境界の揺らぎが内包されています。

第23回目となる本展では、作家たちが実際に存在した記憶や素材、技術、それぞれが持つコンテクストを汲み取り、新たなイメージへと組み立てていくプロセスに着目します。真偽に惑わされることの多い日常において、私たちは情報とどのように向き合い、何を信じ、どのように世界を捉えているのか。本展では、その問いを改めて考える契機となる作品を紹介します。



関連イベント 出品作家とゲストによるトーク

会場：東京都写真美術館1階ホール
定員190名 | 入場無料 ※手話通訳・文字表示支援付き。

- 10月4日(日) 14:00–15:30 市田小百合 (出品作家) × 本橋 仁 (金沢21世紀美術館 キュレーター)
- 10月18日(日)14:00–15:30 野村在 (出品作家) × 岡部あおみ (美術評論家、インディペンデント・キュレーター)
- 11月1日(日) 14:00–15:30 苅部太郎 (出品作家) × 下西風澄 (哲学者)
- 12月13日(日)14:00–15:30 橋本麦 (出品作家) × 辻川幸一郎 (映像作家)
- 1月10日(日) 14:00–15:30 藤倉麻子 (出品作家) × 南後由和 (社会学者、法政大学教授)

※当日10:00より1階総合受付にて整理券を配布します。

担当学芸員によるギャラリートーク

- 10月9日(金) 14:00– 文字表示支援付き
- 11月13日(金) 14:00– 手話通訳付き
- 12月11日(金) 14:00– 手話通訳付き

※当日有効の本展チケットまたは展覧会無料対象者の方は各種証明書等をご持参のうえ3階展示室入口までお集まりください。

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

1

2

3

4

1 橋本麦《Milling Stop-Motion (tentative title)》2024年–作家蔵 ©Baku Hashimoto

2 市田小百合《Kūseki #009, 2025》2025年 作家蔵 ©Sayuri Ichida

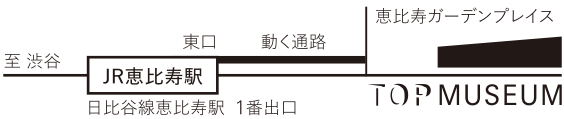
3 藤倉麻子《4 Tales of Open Sunrise City (tentative title)》2026年 作家蔵 ©Asako Fujikura

4 野村在《ハイオフォトンはいかくも輝く (白いチョコキを着た小人症の女性の湖の前で一人で笑顔、1981)》2026年 作家蔵 ©Zai Nomura

表 苅部太郎

《あの海に見える岩を、弓で射よ #30》2022年 作家蔵 ©Taro Karibe

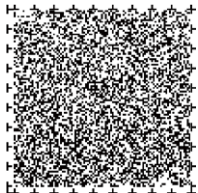
事業は諸般の事情により変更することがございます。
各種割引、オンラインチケット等を含む最新情報は当館ウェブサイトでご確認ください。



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、
東京メトロ日比谷線恵比寿駅1番出口より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。
お車でこ来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



展覧会の詳細な情報は
左の二次元コードから
ご確認ください。



音声コード (Uni-Voice)
専用アプリでチラシの内容を聞くことができます

ふ
た
た
び
く
み
た
て
る